

リンパ造血器疾患の病因・病態における新規造血制御分子の関与

1. 研究の対象

下記疾患を有する成人患者（ただし、本人または代諾者が文書にて同意取得可能な方）

- ・リンパ造血器腫瘍：急性骨髄性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性腫瘍、急性リンパ性白血病、慢性リンパ性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、など
- ・骨髄不全：再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、溶血性貧血、など
- ・造血幹細胞移植症例
- ・希少造血器疾患（hairy cell leukemia Japanese variant など）や特異な病態を示した症例

2. 研究目的・方法

近年、各病気の発症や病態に重要な蛋白を選択的に阻害する治療薬の開発が進み、リンパ造血器疾患の治療成績は飛躍的に向上してきました。私たちは、リンパ球や血液細胞がどのようにして造られるか、どのようにして調節されるか、などに関して、独自の手法を用いて解析を進めてきました。結果、血液細胞が特定の働きを持つ細胞に変化すること（分化という）や 増えること（増殖という）に関わる細胞内外の蛋白を数多く見つけてきました。この研究では、これらの興味深い蛋白がリンパ造血器疾患の病因・病態にどのように関与しているかを検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：採血・骨髄穿刺・骨髄生検・リンパ節生検・腫瘍生検・腰椎穿刺などを行う際の残余検体、臍帯血

情報：治療とその後の経過、血液・画像検査データ、カルテ記載等

4. 外部への試料・情報の提供

順天堂医院血液内科、広島大学原爆放射線医科学研究所がん分子病態研究分野、熊本大学大学院生命科学研究部臨床病態解析学分野、国立がん研究センター先端医療開発センター免疫 TR 分野にて行われる場合があります。試料の提供は郵送で行います。その際に試料は提供先では個人が特定できない形とします。

5. 研究組織

研究代表施設：大阪大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科

研究代表者：大阪大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 保仙 直毅 教授

共同研究機関・共同研究機関責任者：

順天堂医院血液内科・小松則夫（遺伝子解析）

広島大学原爆放射線医科学研究所がん分子病態研究分野・金井昭教（遺伝子解析）

熊本大学大学院生命科学研究部臨床病態解析学分野・松井啓隆（遺伝子解析）

国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫 TR 分野 西川博嘉（免疫細胞解析）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 TEL:06-6879-3871 FAX:06-6879-3879

助教 一井倫子

研究責任者： 大阪大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 教授 保仙直毅

研究代表者： 大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科 教授 保仙直毅